

「消化器画像」第4巻 総目次(2002年第1号～第6号)

各欄右端の数字は通巻頁数、()内は号数を示す

State of the Art

粘液結節に石灰化を伴った粘液産生肝内胆管癌
の1例

亀崎 真・岡本篤武・神澤輝実・堀口真一郎 …6(1)

膵頭部小膵癌の1例

土井隆一郎・藤本康二・光宮義博・南口早智子
小西淳二・今村正之 …147(2)

画像上診断が困難であった肝嚢胞性腫瘍の1例

桂巻 正・永山 稔・久木田和磨・佐々木寿誉
古畑智久・向谷充宏・平田公一・小井戸一光
晴山雅人 …278(3)

門脈合併切除を要した膵島細胞癌の1切除例

坂本英至・秋田昌利・長谷川洋・小木曾清二
…403(4)

限局性結節性過形成(FNH)の1例

井出義人・梶原正俊・長井和之・中島亮太郎
古山賢一郎・岡田憲幸・和田道彦・正井良和
宮原勅治・橋本 隆・今井史郎・柳橋 健
小西 豊・岡部純弘・埴岡啓介・梶原建熙 …523(5)

膵管内乳頭粘液性腫瘍(粘液非高産生性)の1例

林 毅・真口宏介・高橋邦幸・湯沼朗生
吉田暁正・田中義規 …636(6)

特 集

自己免疫性膵炎とその周辺

序/自己免疫性膵炎の疾患概念

一びまん性膵管狭細型と限局性膵管狭細型慢
性膵炎の位置づけ

土岐文武 …11(1)

自己免疫(関連)性膵炎の診断に至るアプローチ

一その病因・病態・臨床像

岡崎和一・内田一茂・大花正也・浅田全範
千葉 勉 …17(1)

自己免疫性膵炎と関連病変の病理

神澤輝実・船田信顕・鶴田耕二・岡本篤武
小池盛雄 …25(1)

自己免疫性膵炎の画像診断— US・CT・EUS・

ERCP

石原 武・山口武人・門野源一郎・平井 太
大島 忠・坂上信行・馬場 毅・尾高健夫

露口利夫・税所宏光 …31(1)

FDG-PETによる自己免疫性膵炎の画像診断

土井隆一郎・岡崎和一・小西淳二・今村 正之
…36(1)

自己免疫性膵炎の画像診断— IDUS でみた胆管
病変

長谷部修・新倉則和・今井康晴・横澤秀一
床尾万寿雄・後藤 暁・古田精市 …41(1)

腫瘤形成性膵炎と自己免疫性膵炎

川瀬義久・澤田憲朗・金子哲也・竹田 伸
中尾昭公 …49(1)

原発性硬化性胆管炎と自己免疫性膵炎

中沢貴宏・大原弘隆・佐野 仁・橋本貴至
山田珠樹・久野 篤・今井英人・城 卓志
伊藤 誠 …53(1)

自己免疫性膵炎における胆管病変—超音波画像
を中心に

本庶 元・竹内和男・長島夏子・山本貴嗣
櫻井則男・奥田近夫・吉崎秀夫・森 正也 …59(1)

自己免疫性膵炎と潰瘍性大腸炎

吉田 仁・田中滋城・永山芳子・竹内治男
新川淳一・池上覚俊・高橋 章・今村綱男
北村勝哉・三田村圭二 …66(1)

自己免疫性膵炎と後腹膜線維症

神澤輝実・船田信顕・鶴田耕二・岡本篤武
小池盛雄 …75(1)

自己免疫性膵炎とシェーグレン症候群

西森 功・森本香理・大西三朗 …79(1)

自己免疫性膵炎における膵内外分泌機能

伊藤鉄英・明石哲郎・井上直子・河邊 顕
小島瑞穂・宜保淳也・久野晃聖・有田好之
大越恵一郎・澄井俊彦・木村寿成・名和田新 …85(1)

自己免疫性膵炎の治療と長期経過

宮川宏之・須賀俊博・藤永 明・長川達哉
平山 敦・岡村圭也・阿部 環・岡 俊州 …91(1)

肝移植と画像—12年の成果と21世紀の展望

序/生体肝移植—12年の成果と将来の展望

幕内雅敏 …151(2)

生体肝移植に役立つ3D画像

中山善晴・門田正貴・荒川昭彦・山下康行
猪股裕紀洋 …153(2)

成人肝移植を考慮するタイミング

市田隆文159 (2)

生体部分肝移植術に必要な画像一式

伊藤 亨・貝原 聡・前谷洋爾・柴田登志也

小西淳二165 (2)

グラフト肝容積の画像評価

浦田浩一・川崎誠治171 (2)

ドナー肝切除と画像

石橋忠司・山田隆之・佐藤明弘・松橋俊夫

齋藤春夫・高橋昭喜177 (2)

画像からみた肝静脈再建の適応

佐野圭二・幕内雅敏・前間 篤・菅原寧彦

高山忠利182 (2)

門脈再建における工夫

菅原寧彦・幕内雅敏188 (2)

ドナー肝動脈変異と肝動脈再建

阪本良弘・高山忠利・中塚貴志・佐野圭二

今村 宏・菅原寧彦・國土典宏・幕内雅敏193 (2)

肝移植後の管理と血流評価

江口 晋・矢永勝彦・兼松隆之199 (2)

病態別にみた京都大学における生体肝移植成績

山本榮和・木内哲也・笠原群生・田中紘一205 (2)

EUS・IDUSの最近の進歩

序/胆・膵領域のEUS・IDUSの役割

真口宏介283 (3)

EUS-FNABによる膵癌と腫瘍形成性膵炎の鑑別

診断

山雄健次・大橋計彦・中村常哉・鈴木隆史

澤木 明・原 和生・大久保賢治・松本学也

森山一郎・田中匡介・松枝 清・清水泰博

横井太紀雄・越川 卓・上山勇二286 (3)

膵癌と腫瘍形成性膵炎との鑑別と進展度診断—

造影EUS/IDUS

桜井康雄・真口宏介・高橋邦幸・湯沼朗生

吉田晴恒・林 毅・河上 洋・田中義規

松永隆祐291 (3)

内視鏡的超音波カラードプラ法による膵癌と

腫瘍形成性膵炎の鑑別診断

長川達哉・須賀俊博・藤永 明・宮川宏之

平山 敦・岡村圭也・阿部 環・岡 俊州

田中道寛・夏井坂光輝301 (3)

EUSによる膵癌と腫瘍形成性膵炎との鑑別な

らびに進展度診断

朝倉 徹・山極哲也・下瀬川徹309 (3)

粘液産生膵腫瘍の診断におけるEUSおよび

IDUSの役割

伊藤彰浩・後藤秀実・廣岡芳樹・橋本千樹

丹羽克司・石川英樹・岡田直人・伊東輝朋315 (3)

粘液産生膵腫瘍のEUS・IDUSに基づいた悪性度

診断と治療方針

山口武人・石原 武・馬場 毅・大島 忠

坂上信行・税所宏光323 (3)

造影IDUSによる胆道病変の質的診断

藤井常志・千葉 篤・齋藤博哉・水上裕輔

羽広敦也・小山内学・柳川伸幸・丹野誠志

高後 裕329 (3)

胆道癌の進展度診断とIDUS・3D-IDUSの役割

三好広尚・乾 和郎・芳野純治・若林貴夫

奥嶋一武・小林 隆・中村雄太・江藤奈緒

高島東伸・服部外志之・中澤三郎335 (3)

胆嚢小隆起性病変のEUS診断

阿部展次・杉山政則・泉里友文・正木忠彦

森 俊幸・山口康晴・大和太郎・跡見 裕341 (3)

胆嚢ss癌のEUS診断

乾 和郎・芳野純治・若林貴夫・奥嶋一武

三好広尚・小林 隆・中村雄太・江藤奈緒

中澤三郎・服部外志之・高島東伸349 (3)

肝細胞癌の病態と新しい治療戦略

序/肝細胞癌の病態と治療—画像の役割

工藤正俊407 (4)

肝細胞癌の悪性度診断—治療すべき結節か否か

松井 修・上田和彦・南麻紀子・小林 聡

寺山 昇・真田順一郎・川島博子・片桐亜矢子

植田文明・蒲田敏文409 (4)

肝細胞癌の進展度診断—正しい治療法選択の

ために

近藤浩史・兼松雅之・松尾政之・五島 聡

星 博昭419 (4)

肝細胞癌におけるラジオ波焼灼術(RFA)の治療

椎名秀一朗・寺谷卓馬・小尾俊太郎・浜村啓介

佐藤新平・赤松雅俊・建石良介・小俣政男427 (4)

肝細胞癌の血流コントロール下RFAによる治

療戦略の展開

山崎隆弘・黒川典枝・高見太郎・山本直樹

木村輝昭・寺井崇二・坂井田功・沖田 極431 (4)

造影ハーモニックイメージングの肝細胞癌局所

治療への応用

工藤正俊・南 康範・鄭 浩柄437 (4)

進行肝細胞癌に対する動注化学療法

田中正俊・安東栄治443 (4)

肝細胞癌における肝切除後の再発病態からみた

発癌抑制

久保正二・西口修平・広橋一裕・田中 宏 首藤太一・竹村茂一・上西崇弘・木下博明 ……451 (4)	
ハーモニックイメージングによる肝細胞癌の 治療効果判定と再発診断 沼田和司・田中克明 ……457 (4)	
ダイナミック CT による肝細胞癌の治療効果判 定と再発診断 塚本達明・市川智章・荒木 力 ……465 (4)	
画像で迫る膵・胆道疾患の内視鏡治療 —安全・適切な手技を目指して 序/胆膵内視鏡治療をより安全に行うために 池田靖洋 ……527 (5)	
より安全な ERCP を目指して—特に膵炎を起こ さないように 神澤輝実・雨宮こずえ・屠 聿揚・江川直人 ……………531 (5)	
EST の基本から高等技術まで 明石隆吉 ……543 (5)	
EST—合併症とその対策 露口利夫・税所宏光 ……551 (5)	
内視鏡的治療がうまくいかなかった時の経皮経 肝胆管ドレナージ 須山正文・窪川良広・崔 仁煥・田所洋行 飯田義人 ……559 (5)	
急性閉塞性化膿性胆管炎(AOSC)の治療戦略 眞栄城兼清・笠普一郎・濱田義浩・緒方賢司 安波洋一・池田靖洋 ……563 (5)	
胆管胆石の治療—EST or EPBD 木田光広・国東幹夫・森木弘子・前澤 寧 北村陽子・竹内 一・菊地秀彦・萬屋 基 竹澤三代子・荒木正雄・山崎好喜・白須恭子 鹿間伸明・渡辺摩也・木田芳樹・今泉 弘 西元寺克禮 ……569 (5)	
悪性胆道狭窄の内視鏡的ステント療法—メタリ ックスステントとプラスチックステントの適応 久保田佳嗣・高岡 亮・山本 伸 ……579 (5)	
膵石症の内視鏡的治療 五十嵐良典・多田知子・志村純一・浮田雄生 井上博和・前谷 容・酒井義浩 ……587 (5)	
上腹部血管性病変—画像診断と治療選択 序/上腹部血管性病変—画像診断と治療選択 板井悠二 ……641 (6)	
肝静脈閉塞性疾患 前谷洋爾・伊藤 亨・柴田登志也・久保 武 芝田豊通・小西淳二 ……643 (6)	
まれな肝内肝外側副血行路	

伊東克能・藤田岳史・松永尚文 ……651 (6)	
肝内血管短絡(Rendu-Osler-Weber 病を含めて) 清末一路・相良佳子・松本俊郎・山田康成 田上秀一・森 宣 ……659 (6)	
門脈閉塞症 廣橋伸治・廣橋里奈・日高晶子・上田耕司 末吉 智・武輪 恵・幕谷士郎・本田伸行 吉岡哲也・吉川公彦・大石 元 ……671 (6)	
肝内門脈分岐型と肝内・肝外門脈瘤の画像診断 藤永康成・角谷眞澄・川上 玲・山崎幸恵 ……681 (6)	
膵の血管病変—仮性動脈瘤と動静脈奇形を 中心に 朝倉 徹・山極哲也・下瀬川徹 ……689 (6)	
上腹部動脈性病変—画像診断と治療選択 蒲田敏文・眞田順一郎・寺山 昇・松井 修 ……………695 (6)	
上腹部血管性病変と超音波—診断と治療 への応用 鄭 浩柄・川崎俊彦・工藤正俊・前川 清 ……705 (6)	
上腹部血管性病変の IVR 治療 岡崎正敏 ……713 (6)	
血管異常を有する症例に対する肝移植 中澤勇一・川崎誠治 ……719 (6)	

症例報告

15 歳女児に発症した Fibrolamellar hepato cellu- lar carcinoma の 1 例 吉永有信・岡住慎一・高山 亘・牧野治文 岩崎好太郎・近藤 悟・須ノ内康太・大平 学 浦島哲朗・浅野武秀・落合武徳 ……97 (1)	
結節内部に小嚢胞状の胆管拡張を伴った細胆管 細胞癌の 1 例 梶原雅彦・田口 順・林 克実・栗原隆二 井上欣哉・古賀裕之・石橋彰子・窪山信一 石井邦英・安倍弘彦・鳥越 昇二郎・徳原宏治 辻 義明・中島 収・神代正道・原田理子 佐田通夫 ……105 (1)	
下部胆管腺腫の 1 例 小山内学・真口宏介・潟沼朗生・河上 洋 網塚久人・伊藤英人・高橋邦幸・小泉一也 三井慎也・泉 信一・渡辺晴司・野村昌史 桜井康雄・辻 邦彦・姜 貞憲 ……213 (2)	
腫瘍内に peliosis hepatis 類似の変化を来した肝 細胞癌の 1 例 小関 至・佐々木茂・松居剛志・松本岳士 長谷川公子・高木秀安・安達泰代・池田 健	

佐藤昌明・桂巻 正・今井浩三	219 (2)
膵悪性腫瘍と炎症性腫瘍の鑑別に難渋した1例	
中村哲之・小西 大・古瀬純司・石井 浩	
小田竜也・中郡聡夫・井上和人・高橋進一郎	
落合淳志・木下 平	227 (2)
十二指腸原発 mucinous papillary adenocarcinoma の1例	
横浜吏郎・石関哉生・田森啓介・稲場 守	
谷 光憲・村川力彦・福良巖宏・西山 徹	
牧野 勲・徳差良彦・三代川齊之	233 (2)
肝原発 epithelioid hemangioendothelioma の1例	
草彌実穂・蒲田敏文・俵原真里・斉藤千夏	
三輪珠生・小坂一斗・松井 修・寺崎修一	
小林健一・野々村昭孝	355 (3)
膵胆管合流異常に合併した早期胆嚢癌の1例	
飯田義人・有山 襄・須山正文・窪川良広	
崔 仁煥・田所洋行・大久保裕直	361 (3)
硬化型肝細胞癌の初期画像所見を確認しえた1 例	
上村顕也・小林正明・森 茂紀・柳沢善計	
小杉伸一・大橋泰博・佐藤 政・木村格平	
野本 実・加村 毅	473 (4)
胆道出血にて診断された早期胆嚢管癌と考えら れた1例	
中村厚夫・八木一芳・関根厚雄・二瓶幸栄	
親松 学・田宮洋一	593 (5)
10年後に切除しえた膵粘液性嚢胞腺癌の1例	
小山内学・丹野誠志・羽広敦也・柳川伸幸	
高後 裕	599 (5)
好酸球増多を伴ったブタ回虫症による多発性肝 腫瘍性病変の1例	
前川陽子・金 守良・井本 勉・佐々木一憲	
安藤健治・福田勝美・中嶋泰典・三田敬二	
小寺沢俊洋・具 光成	605 (5)
肝外発育傾向が著明で術前診断に苦慮した多発 性肝嚢胞腺癌の1切除例	
白相 悟・鈴木正徳・海野倫明・片寄 友	
力山敏樹・竹内丙午・松野正紀・遠藤希之	727 (6)
乏血性膵内分泌腫瘍の1例	
植木敏晴・矢野 豊・大谷圭介・坂口正剛	
松井敏幸・八尾恒良・河原一雄・有馬純孝	
成富一哉・原岡誠司・岩下明徳・尾石弥生	735 (6)

技術講座 超音波技術の新しい展開

肝血流の治療評価	
浅野 朗	127 (1)

胆・膵の IDUS	
須山正文	241 (2)
IDUSの適応—消化管をみる	
三島利之・長南明道	367 (3)
超音波内視鏡下穿刺の実際とコツ	
原 和生・山雄健次・大橋計彦	483 (4)
エコー下穿刺—胆膵の診断と治療	
山口武人・石原 武・税所宏光	753 (6)

連載 久米エコー：手術のための立体的 進展度診断

7. 膵頭部癌の門脈合併切除—どこをどれだけ 摘(と)るの？	
久米明倫・二村雄次	119 (1)
8. 転移性肝癌の残肝再発—左肝管も摘(と)っ ちゃうの？	
久米明倫・二村雄次	256 (2)
9. 分岐異常門脈内に広範囲に腫瘍栓が進展し た局所再発肝細胞癌—いつになったら摘 (と)れるの？	
久米明倫・二村雄次	380 (3)
10. 進行胆嚢癌—どう摘(と)るの？	
久米明倫・二村雄次	495 (4)
11. 上部胆管癌の US —膵頭十二指腸部も摘 (と)るの？	
久米明倫・二村雄次	765 (6)

講座 知っているのと役に立つ超音波のサイン と用語

Hepato-Renal Echo Contrast, Marginal Strong Echo	
一二三倫郎・山根隆明	134 (1)
Keyboard Sign	
森 秀明	134 (1)
Fatty Bandless Sign, Mesh Pattern	
一二三倫郎・山根隆明	264 (2)
Mickey Mouse Figure	
森 秀明	265 (2)
Mirror Image, Mixed Pattern	
竹原靖明	372 (3)
Mosaic Pattern, Parallel Channel Sign	
森 秀明	373 (3)
Solid Pattern	
竹原靖明	488 (4)
Network Pattern, Portal Sandwich Sign, Penetra- ting Duct Sign	
一二三倫郎・山根隆明	488 (4)

Pseudo-Kidney Sign, Multiple Concentric Ring Sign, Target Sign	
徳野恵津子・平井都始子	614 (5)
Pseudo Parallel Channel Sign	
森 秀明	746 (6)
Sandwich Sign, Shell Sign, Sonolucent Layer	
一二三倫郎, 山根隆明	746 (6)

講座 最新の消化器 CT 診断

マルチスライス CT で消化器診断はどう変わる？	
山下康行	111 (1)
最新の画像を理解するための essential minimum	
山下康行	249 (2)
肝臓のダイナミック CT	
山下康行	375 (3)
マルチスライス CT による膵臓のダイナミック CT：膵癌の診断をターゲットとして	
山下康行	491 (4)
マルチスライス CT による腹部血管の CT angiography	
山下康行	609 (5)
胆道、膵管系の三次元画像— MPR 法ならびに min-MIP 法	
山下康行・中山義晴	748 (6)

Clinical Challenge この画像から何が読めるか？

急性腹症の超音波検査	
工藤正俊	5 (1), 268 (2)
肝腫瘍の CT・MRI 検査	
角谷眞澄	267 (2), 390 (3)
膵頭部領域の腫瘍	
朝倉 徹・下瀬川徹	389 (3), 480 (4)
左上腹部の疼痛	
江川直人	479 (4), 618 (5)
肝腫瘍の診断と術式の選択	
加藤高明, 高山忠利	617 (5), 742 (6)
膵頭部領域の嚢胞性腫瘍	
土井隆一郎, 今村正之	741 (6)

その他

海外文献紹介	
フェルモキシデス造影 MRI における硬変肝細胞性結節の顕性度—クッパー細胞数の重要性	
板井悠二	137 (1)
肝癌の高周波熱凝固治療後の腫瘍再発	

—2 相造影 CT の諸所見	
板井悠二	137 (1)
胆嚢癌の肝転移—胆嚢動脈造影剤注入下ヘリカル CT による胆嚢静脈還流域との解剖的対比	
板井悠二	138 (1)
肝内門脈大循環短絡路の CT 所見	
女屋博昭	138 (1)
43 症例における上腸間膜静脈血栓症の検討	
女屋博昭	139 (1)
肝の経カテーテル動脈性化学塞栓術後の門脈閉塞に至る胆管障害—CT 変化と初回の観察	
板井悠二	272 (2)
肝硬変患者の肝内門脈逆流—摂食による逆転	
板井悠二	272 (2)
経上腸間膜動脈プロスタグランジン E1 注入の肝細胞癌血流動態に及ぼす影響	
板井悠二	394 (3)
門脈内血流分布：呼吸停止下心電図同期 3-D ハーフフーリエ高速スピニング MR 像並びに選択的 IR タグgingパルスを用いた評価	
板井悠二	394 (3)
腹腔鏡超音波を用いたインスリノーマ切除	
山口幸二・田中雅夫	395 (3)
一時的静脈閉塞下の肝腫瘍経皮ラジオ波焼灼療法	
板井悠二	509 (4)
超音波像で標的様所見を呈す肝 S4 の偽腫瘍	
板井悠二	509 (4)
肝血管の多検出器列ヘリカル CT 血管造影—1 回吸停止下 2 回動脈相取得による描出能	
板井悠二	510 (4)
血管造影 CT 所見と病理との対比による肝細胞癌と dysplastic nodule における連続的な血流動態変化の検討	
女屋博昭	510 (4)
膵炎患者の MR 画像—信号強度と造影効果の変化による評価	
女屋博昭	511 (4)
肝硬変および非肝硬変患者における超常磁性酸化鉄による肝信号変化：パルスシーケンス効果とクッパー細胞機能	
板井悠二	621 (5)
バッド・キアリ症候群の良性肝結節：中心瘢痕を強調した画像・病理の対比	
板井悠二	621 (5)
進行した肝硬変患者における肝動脈の buffer re-	

sponse

工藤正俊	622(5)
切除不能肝細胞癌に対する動脈塞栓あるいは動脈化学塞栓療法と対症療法の無作為化比較試験	
工藤正俊	623(5)
膵管内乳頭状粘液産生腫瘍の新分類：ムチン蛋白発現と悪性転化能との関係	
女屋博昭	624(5)
マルチスライス CT：多血性肝細胞癌検出に関するスライス厚の診断的意義	
板井悠二	775(6)
硬変肝の肝細胞癌と異形成結節の超音波による検出— 200 例の術前超音波検査と摘出肝の対比	
板井悠二	775(6)
膵癌に対する光線力学的治療	
朝倉 徹・下瀬川徹	776(6)
超音波内視鏡による早期慢性膵炎の診断—前向き追跡調査による検討	
朝倉 徹・下瀬川徹	777(6)
書 評	
EBM 医学英語論文の書き方・発表の仕方	
大和眞史	78(1)

15 分間の問診技法—日常診療に活かすサイコセラピー	
渡辺 武	136(1)
胃と腸アトラス I/胃と腸アトラス II	
寺野 彰	266(2)
肝癌診療 A to Z—国立がんセンター東病院の治療戦略	
小俣政男	322(3)
馬場塾の最新胃 X 線検査法	
今村清子	393(3)
プラクティカルコロノスコピー 第 2 版	
幕内博康	512(4)
馬場塾の最新胃 X 線検査法	
八尾恒良	513(4)
EBM 時代の症例報告	
井村 洋	514(4)
追 悼	
楽しき友 大橋計彦との別れ	
二村雄次	626(5)
学会印象記	
第 33 回日本膵臓学会大会印象記	
岡崎和一	760(6)
第 38 回日本胆道学会学術集会印象記	
安田一朗	762(6)

MEDICAL BOOK INFORMATION

医学書院

緩和内視鏡治療

編集 鈴木博昭・鈴木 裕

●B5 頁192 2002年
定価(本体8,000円+税)
[ISBN4-260-12463-3]

近年著しい進歩を遂げた内視鏡は、根治的治療としてのみならず、末期癌の諸症状の軽減や患者・家族のQOL向上においても大きな役割を果たす。本書では出血や狭窄に対する治療から、PEG、ペインコントロールまでを詳述。緩和医療としての内視鏡治療はいかにあるべきか? 「緩和内視鏡治療」を提唱し、その真髄を伝える本邦初の書。